

## 正 誤 表

2016/12/28

	ページ	箇所	現行（誤）	訂正
〔基本編〕 テキスト	014	10行目	・家庭用部門の記載	フォントが違う。文字が小さい
	042	表右欄	※2	削除
	067	9行目	暖房効果を高めるとともに、夏期の日射侵入を軽減します（冬期日射熱取得を防げます）	断熱性を高めるとともに、夏期の日射侵入も軽減します（冬期の日射熱取得は軽減されてしまいます）。
	089	下方6～8行目	・低炭素認定、長期優良住宅認定： 「平成25年省エネ基準」「平成28年省エネ基準」のいずれも可 ・届出：「平成25年省エネ基準」（平成28年省エネ基準は使えません）	・低炭素認定、長期優良住宅認定、省エネ措置の届出： 「平成25年省エネ基準」「平成28年省エネ基準」のいずれも可 →届出：「平成25年省エネ基準」（平成28年省エネ基準は使えません）
	090	下から3行目と2行目	温度環境	温熱環境
	097	「住宅事業建築主基準」の表	～H32.4.1～	H32.4.1～
	110	下5行	「低炭素建築物認定基準」の告示に定める算定方法による場合は、（国立研究開発法人）建築研究所の「エネルギー消費性能算定プログラム（住宅版）Ver.2.0」を使用します。	「低炭素建築物認定基準」の告示に定める算定方法による場合は、（国立研究開発法人）建築研究所の「エネルギー消費性能算定プログラム（住宅版）」を使用します。Ver.1.0（平成25年省エネ基準対応）、Ver.2.0（平成28年省エネ基準対応）のどちらのプログラムも使用可能です。
	114	下から5行目	UA値	U <sub>A</sub> 値
120	17行目 省エネルギーセンターのURL	<a href="http://www.jsbc.or.jp/">http://www.jsbc.or.jp/</a>	<a href="http://www.eccj.or.jp/">http://www.eccj.or.jp/</a>	